

文教厚生委員会

問 農業集落排水事業は、今まで市の負担があつたが全額自己負担となるのか

答 来々年4月1日から、区域外の市の負担金はなくなり、農業集落排水は、本管が通っているところまでを区域内と考えています。

問 公共下水事業の区域外の補助は

答 平成17年度以降に区域外に建てた場合は、全額補助とはいきませんが、補助区分3で補助し、5人槽の場合33万2千円であり、設置の一部補助になります。

問 介護型から医療型に移行する病院事業は、10月1日から施行するが、何故4月1日からとしなかったのか

答 病室内の改修工事と、会計上、介護保険から医療保険に替わるためです。

また、今年の4月から電子カルテを導入したためです。

問 医療型に変わることで入る条件等はいります。

答 平成23年度国民健康保険特別会計決算は、保険給付費がマイナスに転じているが、予算が難しいということか

答 今年度は歳入歳出差引額が2億円余あり

りました。法定外繰入金も3年計画でもらい、適切な決算をするよう推計をしながら補正をしてきたが、医療費推計は、今後もう少し精度の高いものにしていきたいと考えています。

問 国民健康保険税の低所得者層の負担は軽減されるが、軽減世帯は何割か

答 約30%です。

問 平成23年度介護保険特別会計決算で収入未済額があるが、その理由

答 主に過年度分で、なかなか支払ってもらえない状況です。

問 平成23年度農業集落排水事業における資産台帳の整備時期は

答 企業会計法の関係もあり、今後検討していきます。

問 平成23年度下水道事業で、管路工事の発注件数は

答 取付管工事が20件、汚水管取付工事が11箇所です。

問 病院の医師確保の進捗状況は

答 医師・看護師を含めた負担軽減策と環境整備に一層力を入れ、医師確保対策に引き続き粘り強く働きかけていきます。



御前崎総合病院 リハビリ療棟

委員間での討議

- ・水道会計について
- ・内部留保資金の有効活用
- ・内部留保資金の有効活用
- ・内部留保資金の有効活用

- ・病院会計について
- ・入院患者が年毎に減少し
- ・入院患者が年毎に減少し

- ・介護保険特別会計について
- ・平成24年度に介護保険料
- ・平成24年度に介護保険料

- ・国民健康保険の自治体単
- ・国民健康保険の自治体単

- ・国民健康保険の自治体単
- ・国民健康保険の自治体単

- ・国民健康保険の自治体単
- ・国民健康保険の自治体単

委員会報告

一般会計予算決算審査特別委員会

一般会計予算の補正について（予算決算審査意見書）

【防災課】

- ・静岡県が来々年6月に発表する、第4次被害想定を待つて防災対策を講じるのは、19mの津波が来るという市民不安を払拭できない。このため、一刻も早い避難地整備や避難路誘導看板等の防災及び減災対策を行い、市民の安全安心が確保できる予算措置を行うよう求める。

- ・農業振興拠点施設整備事業については、議会から提案した事業であり、スムーズな事業推進のために、来年度当初予算をはじめ事業進捗時には、事前に説明するよう求める。

【農林水産課】

- ・静岡県が来々年6月に発表する、第4次被害想定を待つて防災対策を講じるのは、19mの津波が来るという市民不安を払拭できない。このため、一刻も早い避難地整備や避難路誘導看板等の防災及び減災対策を行い、市民の安全安心が確保できる予算措置を行うよう求める。

- ・静岡県が来々年6月に発表する、第4次被害想定を待つて防災対策を講じるのは、19mの津波が来るという市民不安を払拭できない。このため、一刻も早い避難地整備や避難路誘導看板等の防災及び減災対策を行い、市民の安全安心が確保できる予算措置を行うよう求める。

- ・静岡県が来々年6月に発表する、第4次被害想定を待つて防災対策を講じるのは、19mの津波が来るという市民不安を払拭できない。このため、一刻も早い避難地整備や避難路誘導看板等の防災及び減災対策を行い、市民の安全安心が確保できる予算措置を行うよう求める。

- ・静岡県が来々年6月に発表する、第4次被害想定を待つて防災対策を講じるのは、19mの津波が来るという市民不安を払拭できない。このため、一刻も早い避難地整備や避難路誘導看板等の防災及び減災対策を行い、市民の安全安心が確保できる予算措置を行うよう求める。

- ・静岡県が来々年6月に発表する、第4次被害想定を待つて防災対策を講じるのは、19mの津波が来るという市民不安を払拭できない。このため、一刻も早い避難地整備や避難路誘導看板等の防災及び減災対策を行い、市民の安全安心が確保できる予算措置を行うよう求める。



農産物の直売風景

展開を求める。

- ・実証圃場では、季節ごとに御前崎市の農業に適した作物の試験や、また、山間部の茶園の実証圃場も含め、茶園から転換できる作物の検証なども行うよう求める。

- ・農業振興拠点施設整備事業は、物品販売だけの施設ではなく、根幹である農業振興及び荒廃農地対策という目的に立ち返り、これらを踏まえて実施設計に反映することを求める。

- ・第一小学校の放課後児童クラブ建設事業において、今回の補正予算は、当初予算の計上にあたり、十分な現地精査や検討が行われず、適正な設計による事業費の計上がなされている。今後当初予算には、適正な事業費を計上することを強く求める。

【福祉課】

- ・第一小学校の放課後児童クラブ建設事業において、今回の補正予算は、当初予算の計上にあたり、十分な現地精査や検討が行われず、適正な設計による事業費の計上がなされている。今後当初予算には、適正な事業費を計上することを強く求める。

- ・第一小学校の放課後児童クラブ建設事業において、今回の補正予算は、当初予算の計上にあたり、十分な現地精査や検討が行われず、適正な設計による事業費の計上がなされている。今後当初予算には、適正な事業費を計上することを強く求める。

- ・第一小学校の放課後児童クラブ建設事業において、今回の補正予算は、当初予算の計上にあたり、十分な現地精査や検討が行われず、適正な設計による事業費の計上がなされている。今後当初予算には、適正な事業費を計上することを強く求める。

- ・第一小学校の放課後児童クラブ建設事業において、今回の補正予算は、当初予算の計上にあたり、十分な現地精査や検討が行われず、適正な設計による事業費の計上がなされている。今後当初予算には、適正な事業費を計上することを強く求める。

- ・第一小学校の放課後児童クラブ建設事業において、今回の補正予算は、当初予算の計上にあたり、十分な現地精査や検討が行われず、適正な設計による事業費の計上がなされている。今後当初予算には、適正な事業費を計上することを強く求める。



白砂公園の河津桜

路の県道及び橋梁の耐震性や、防災面を反映した市道や県道の計画的な整備が強く求められることから、時代に則した道路整備計画に着手することを求める。

【教育総務課】

- ・学校教育施設について、教育環境の美化は、児童や生徒の健やかな成長につながり、来訪者に良い印象を与えることから、園や学校は、PTAと一体となって、教育環境の美化につとめるよう求める。

【福祉課】

- ・高齢化社会や社会情勢の厳しさから、年々扶助費は増加しているが、「福祉のまち」を掲げている御前崎市として、社会福祉の維持に最大限の努力を求める。

以上の討議結果について取り組みを求める意見書を提出することが委員全員の総意として決定しました。

【農林水産課】

- ・松くい虫の影響で保安林の松が無くなり、塩害が増えるとともに、風が抜けることにより農作物やハウスへの影響も大きくなっていることから、保安林の復元に最大限の努力を求める。

- ・松くい虫の影響で保安林の松が無くなり、塩害が増えるとともに、風が抜けることにより農作物やハウスへの影響も大きくなっていることから、保安林の復元に最大限の努力を求める。

【建設課】

- ・現在の道路整備計画は策定から長く経過し、避難路を十分考慮した整備計画となっていない。PAZが確定した際には、主要避難道



松くい虫の影響で枯れた保安林